

# ジオパーク応援団だより

第6号 | 2016.1.1

## 下仁田街道(下仁田道)——これもジオの一つ——

里見哲夫

江戸時代中山道は江戸と京都を結ぶ重要な街道で、東海道の裏街道として政治・文化・交通の大切な地点でした。藤岡宿より吉井宿、富岡宿、下仁田宿を経て信州へ越える中山道の脇往還として栄えたのが下仁田街道(下仁田道)です。

主な流通面としては砥石、米などの輸送は、下仁田より小坂坂峠道が輸送の道となっていたのです。どうして馬山村を通らなかったのかお分かり頂けましょうか。

馬山を通るには、石淵橋、神戸橋、不通橋、比佐理橋などはまだ架設されていません。

四つの難所は、急峻で簡単には通行出来ませんでした。

その為、小坂坂峠道が古くから開かれたのでしょ。

峠の頂きには切り通しがあります。1892年(明治25)にトンネルが開通してからは馬車の通行も可能になりました。

従いまして、小坂坂峠道は古道として重要な役割を果たしてきたわけです。この下仁田街道(下仁田道)は下仁田から二つに分かれ、西牧関所を経て内山峠、和美峠から信州へと通じ、もう一つは砥沢の南牧関所を経て余地峠より信州へと通じ、武田信玄が上州へと攻め込んだ道としても知られています。

1864年(元治元)旧暦11月1日、茨城県大子町を出立した天狗党約1000名もこの小坂坂峠道を通して11月15日に下仁田に宿営して、16日早朝下小坂で高崎藩と一戦交えています。よく「温故知新」と申しますが、従事を訪ねてみる事も必要でしょう。

今は交通も便利となりまして、信州へもひと飛びとなりました。下仁田からそれぞれの峠へ通じる各所にはまだ古い道が残っていますし、石造物もみられます。ジオパークの一つとして活用されては如何でしょうか。

・現代に至る交通事情

- ・1964年(昭和39)ー佐久へ通じる県道が国道254号となりました。
- ・1978年(昭和53)ー内山トンネルが完成し開通となりました。
- ・1989年(平成元)ー国道254号内山道路が全線開通しました。
- ・1993年(平成5)ー上信越自動車道が開通となりました。

### 【季節の花】フクジュソウ

フクジュソウは、旧暦の元日ころに咲いて、新年を祝う花として使われたところから、別名カンジツソウともいわれています。普通2~3月に開花します。

県内に自生地もありますが、絶滅危惧種になっています。



## 行事報告 -こんなことやってます-

### 日本ジオパーク関東大会・銚子大会2015に参加してきました

11月21日・22日と銚子で開催された「日本ジオパーク関東地区大会・銚子大会2015」に日本ジオパーク下仁田応援団が団長以下参加致しました。

今年で3回目を迎えた日本ジオパーク関東地区大会は、「ジオパークで身近な人とつながりを広げよう」のテーマを掲げ、基調講演・分科会・バーチャルジオパーク・ブース展示と行われ参加致しました。

大会において、11月17日に行われたユネスコ総会の本会議にてジオパークのユネスコ正式事業化の提案が可決され「国際地質科学ジオパーク計画としてユネスコの正式事業となった」という朗報もありました。

交流会の席では、壇上で、来年は、下仁田ジオパークが大会会場となる「開催宣言」を発信してきました。



ブース展示前で、下仁田の紹介をしました。



分科会でほかの地域ガイドと討論しました。

### 140年振りにたたら製鉄実現!!

事前研修を積み、砂鉄収集のもと準備万端にて待ちに待った‘たたら製鉄’が去る11月14日に下仁田では140年振りに開催されました。

中小坂鐵山は、江戸末期から採掘され幕府勘定方小栗上野介はもとより大河ドラマNHK 花燃ゆ に関わる榎取素彦の申請に因って内閣総裁伊藤博文より許可を得て、官営となり我が国初の洋式溶高炉が建設されました。

11月14日は秋雨のそば降る中、総勢70余名の参加のもと豚汁や甘酒で身体を温め乍、砂鉄20kg木炭60kgにて5kgの製鉄ケラ(鋳)が作られました。

炉からの鋳出しでは‘わアー’と請う歓声が上がリ、ものづくり教育たたら代表・福島宣行氏、産業考古学会・原田喬氏はじめ多くの方々の御尽力を、陰に陽に賜り成功裡に収められました。



けら出しの瞬間。炉から鉄の塊を取り出しました。



けら出し終了後みんなで記念撮影

ジオパークで  
地域に活力を!!

## ジオパーク推進だより

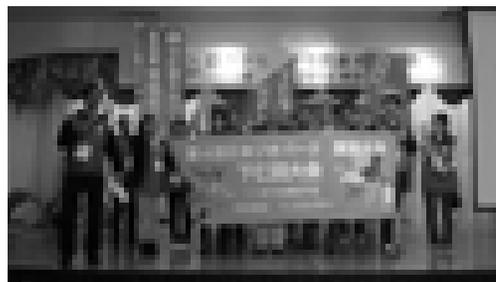
下仁田町自然史館  
下仁田町大字青倉158-1  
☎70-3070 FAX67-5315  
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

### 行事報告

#### ■ジオパーク関東大会に参加しました

11月21日(土)~22日(日)に千葉県の銚子ジオパークで開催されたジオパーク関東大会に、日本ジオパーク下仁田応援団とともに参加しました。大会では、関東近郊のジオガイドや行政職員計150人が集まり、講演会や分科会などとおしてジオパークによる町づくりの方法について討論してきました。

また、次年度の関東大会は下仁田ジオパークでねぎ祭りと同開催の予定です、ぜひ下仁田へお越しくださいとPRしてきました。



#### ■下仁田ねぎ祭りジオパークブース

11月22日に開催された下仁田ねぎ祭りに、日本ジオパーク下仁田応援団と共に参加しました。今年のジオパークブースでは、ジオツアーのほか、石の種類について学びながら、石に目や口を貼り付け「ジオ星人」を作りました。参加した子供たちの手によって、たくさんのジオ星人が誕生しました。楽しくジオパークを学ぶことができたと思います。

### ネギとコンニャク・ジオパーク

#### 根なし山(クリッペ)

下仁田ジオパークのテーマを公募し、新しいテーマは「日本列島の誕生をひもとく根なし山」になりました。根なし山が日本列島の誕生をひもとくとはどういうことなのでしょう?根なし山は岩石の上に別の岩石や地層が横すべりして移動してきたものです。この移動してきた岩石がどこから来たのかはまだ分かっていません。しかし、これらは下仁田の多様な大地の変動によって生まれたと考えられています。根なし山がどこから来て、どうやってできたのかを調べることは、日本列島誕生の際の多様な大地の変動を知ることにもつながっていくのです。

※下仁田町自然史館では、午前9時~午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。

※1月の休館日は1~4日・18日です

問合せ先 産業観光課 観光振興係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

### 年金 送られます 公的年金等の源泉徴収票が

平成27年中に厚生年金や国民年金等の老齢年金、または退職を支給事由とする年金を受けられた方に、年金の金額等をお知らせする『平成27年分公的年金等の源泉徴収票』を1月中旬から下旬にかけて日本年金機構からお送りします。

この源泉徴収票には、昨年の1月から12月までの一年間に支払われた年金の金額、源泉徴収された税額、控除された金額の内容が記載されています。

年金のほかに収入があるなどの理由で確定申告をする方は、申告手続きをする際の添付書類等として、この源泉徴収票が必要になりますので、大切に保管してください。

もし、源泉徴収票を紛失してしまった場合は、再発行の申請を電話で行い、ご本人様の住所地に郵送するか(発送までに2週間程度必要)、または住所地を管轄する年金事務所でも再発行の手続きができます。

なお、遺族年金、障害年金には税金がかかりませんので、これらを受給している方には源泉徴収票は送られません。

#### 【問合せ先】

ねんきんダイヤル

☎0570-051165

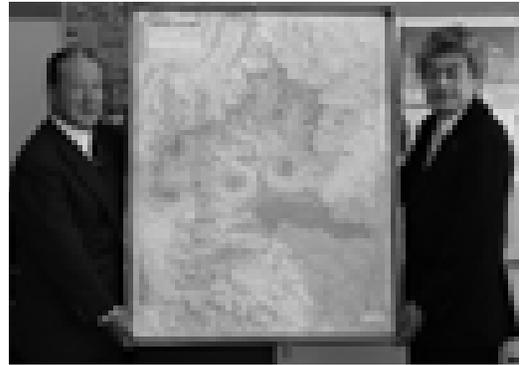
高崎年金事務所

☎027-1322-4299

## 群馬県立体地図を寄贈

12月1日(火)、技研コンサル株式会社様の創立50周年を記念して、社長の嶋田様より下仁田町に群馬県立体地図を寄贈して頂きました。

大変ありがとうございました。



## 健康祭開催

11月15日(日)下仁田町保健センターにおいて健康祭が開催され、時々小雨の降る中160名が来場されました。

食育体験ブースは、あったま汁・おから料理・野菜クレープといった野菜たっぷりの試食をはじめ、野菜350g計量クイズやトマトすくいゲーム等が人気でした。

体験ブースでは、榛名荘病院による骨密度測定、医療機器メーカーによる血管年齢・肺機能測定、脳年齢測定、タニタによる体組成測定、富岡保健福祉事務所の手洗い・自殺予防啓発、歯科コーナーのお口のチェック・歯みがき体験、地域リハビリテーション推進協議会によるてんとうむしテスト、健康運動指導士によるいきいき健康教室、生命の貯蓄体操普及会によるミニ体験、大腸がんクイズラリー等で賑わいました。

他にもフロリデーション水試飲、童謡を歌う会・子育てボランティアの活動発表展示、福祉作業所の作品販売、EMIぼかしや廃油石けんの無料配布、子どものあそびコーナーなども行われました。



## 「冬の県民交通安全運動」を実施しました

冬の県民交通安全運動の一環として、12月1日(火)に道の駅しもにた前の国道254号線で街頭指導を行い、反射材ストラップなどの啓発品を配布し、事故防止を呼びかけました。2日(水)には町内の飲食店を廻り、飲酒運転撲滅活動を行ない、4日(金)には下仁田厚生病院で反射材啓発グッズを配布し高齢者事故防止啓発を行いました。警察、町、交通安全協会、交通モニター、地域交通安全活動推進協議会など多くの交通関係団体が一体となり啓発活動を行いました。ご協力ありがとうございました。



街頭指導



飲酒運転根絶



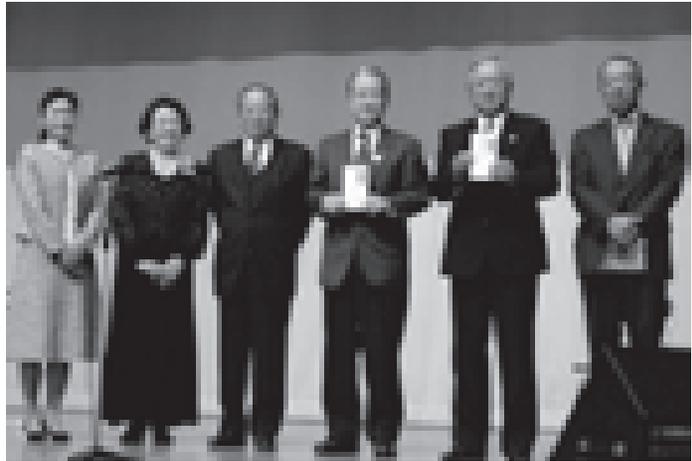
高齢者事故防止

## 第25回下仁田町「年末愛のチャリティーショー」

12月6日(日)文化ホールにおいて毎年恒例の「年末愛のチャリティーショー」(主催:下仁田ボランティア会)が開催されました。

町民有志の皆様による歌と踊りや、松平直樹さん・櫻井まりさん、松川美樹さんによる歌謡ショーなど盛りだくさんのステージが催され会場は午前、午後とも超満員。今年も大盛況のチャリティーショーとなりました。

また、主催者より収益金のうち、町に6万8千8百円、社会福祉協議会に20万円をご寄附いただきました。ありがとうございました。



## 小学4年生ねぎ収穫体験

12月7日(月)、町と商工会青年部が協力して育てた畑で、下仁田小学校の4年生37人がねぎの収穫体験を行いました。

太く大きく育ったねぎを収穫でき児童たちは大変喜んでいました。



## 少し早い年越しそばに舌鼓

12月9日(水)下仁田町デイサービスセンター(馬山)で通所者の方々に手打ちそばが振る舞われました。この日そばを打っていただいた方は高崎市倉賀野で「そば処うちだ」営んでいる内田良久さんと息子の真作さん。内田さんは下仁田町(川井区)の出身で、お世話になった下仁田町に奉仕したいとの思いに至り、今年で5年目となります。

通所者の皆さんは、目の前で打られたそばを、大変おいしくいただいております。



そばを打つ内田真作さん



そばをご馳走になる通所者の皆さん

# 下仁田ねぎ祭りが開催されました

11月22日(日)こんにやく手作り体験道場前広場&仲町通りを会場に下仁田ねぎ祭り2015が開催されました。当町を代表する下仁田ねぎをメインに農作物の販売や「しもにた汁」の無料配布等が行われ、大勢の来場者でにぎわいました。全長25メートルの巨大ねぎま作りや下仁田ねぎの大名焼き、しもにた汁の早食い競争など多岐にわたる内容で、来場した約1万1千人の熱気で寒さを吹き飛ばすほどのイベントでした。イベントの開催に先立ち、下仁田ねぎ共進会の審査が

## 下仁田ねぎ共進会(品評会)

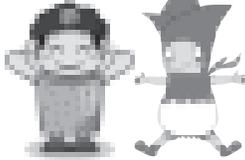
優等賞 竹内 正夫氏

一等賞 飯野 弘信氏

一等賞 堀口 博志氏



▲左から飯野さん・竹内さん・堀口さん



無料配布には長蛇の列▲しもにた汁▼ねぎ焼



▲群馬住みます芸人のアンカンミンカンの二人にも会場を盛り上げていただきました。